

## 大切な人を思うきっかけになるように

10/23

静岡県人権啓発ポスターコンテスト開催 町内2作品が優秀賞を受賞



賞状を手に笑顔の鈴木さん(左)と坂口さん(右)

静岡県人権擁護委員協議会が主催した「令和4年度人権啓発ポスターコンテスト」が行われ、小学生から高校生までの約250点の応募作品の中から、中央小学校5年生の鈴木心寧さん(高郷区)と中川根中学校2年生の坂口月美さん(高郷区)がそれぞれ優秀賞に輝きました。

鈴木さんは「国籍や性別に関わらず、互いの違いを受け入れて助け合える世界になれば」と作品に込めた思いを話し、坂口さんは「未来は選ぶ言葉ひとつで変えることができる。大切な人に言葉をかけるときに意識してほしい」と真剣な表情で語りました。

## いつもお仕事ありがとうございます!

11/22

三ツ星保育園の園児が勤労感謝の日に町内の事業所などを訪問



「いつもお仕事ありがとうございます!」職員に感謝伝える

三ツ星保育園の園児らが勤労感謝の日に合わせて町内の郵便局や駐在所などを訪れ、色紙などを使って手作りした花束付きのメッセージカードを贈りました。

この日、乳児組と年中の園児21名が役場を訪問。園児たちは「いつもありがとう」や「お仕事頑張ってください」などと感謝の気持ちを元気いっぱいに伝えていました。

園児からねぎらわれた職員は「子どもたちからもらったメッセージを日々の励みにしたい」と笑顔で話しました。

## 11/13 勇ましい演奏で観客を魅了

赤石太鼓40周年記念公演が開催



迫力ある太鼓の演奏を披露

赤石太鼓40周年記念公演が文化会館で開催され、詰めかけた100名を超える観客らは迫力ある太鼓の演奏に魅了されていました。

赤石太鼓は昭和56年に、地域住民の連帯感と郷土愛の醸成を目的に創設され、翌年同保存会が発足し、現在まで活動を続けてきました。

記念公演では、アンコールも含めて全9曲が演奏され、また友情出演として招かれた金谷大井川川越し太鼓と遠州天竜太鼓龍勢組らの演奏も披露され、観客は、出演者たちの勇ましい姿や個性あふれる演出に拍手を送っていました。

## 11/28 祝J2昇格! 藤枝MYFCを応援しよう!

サッカーで感動と勇気を! J2リーグ昇格を町長に報告



贈呈されたボールを手にほほ笑む園田町長

藤枝MYFCの徳田航介代表取締役と久保藤次郎選手、榎本啓吾選手が川根本町役場を訪れ、2022年シーズンの成績を園田町長に報告しました。

藤枝MYFCは昨シーズン、全18チーム中2位の成績を収め、J2リーグに昇格を果たしました。

徳田代表は「日頃からホームタウンの皆様の応援が力になっています。来シーズンも引き続き応援よろしくお願いします」と話しました。

園田町長は「来シーズンは、昨年よりも厳しい戦いになると思うが、地元の応援を背にぜひ頑張してほしい」と激励しました。

## 恒久平和の誓い新たに

11/19

川根本町戦没者追悼式が挙行



戦没者追悼の標に恒久平和を誓う園田町長

町主催の戦没者追悼式が、文化会館で行われ、参列した遺族らが戦没者の冥福を祈りました。

園田町長は「戦没者の御霊をお祭りし、改めて恒久平和を祈るとともに、本町に住む皆さんが安心・安全に暮らせるふるさとづくりに尽力したい」と祭文を述べました。

遺族会の榎田肇会長(千頭西区)は「今日の我々の平和と繁栄が尊い命の上に築かれていることを決して忘れず、戦没者の魂がとこしえに安らかなることをお祈りします」と追悼の意を表しました。

## 早く来い来い♪お正月!

11/30

コロナ禍でも生き生きサロンでリフレッシュ! 少し早めのお正月の準備



「上手くできたっけなあ!」完成した門松を見せ合う

地名集会所で高齢者の交流促進や閉じこもり予防を目的に開催されている生き生きサロン「地名の平で楽しまっかい」が行われ、参加した住民約30名がミニ門松づくりに挑戦しました。

この日、準備された材料は講師の松島保さん(地名区)が町内の山々から集めたもの。参加者は孟宗竹の器に細めの竹3本を差し込み、笹の葉やナンテンの実で丁寧に飾り付けていました。

区長の御倉洋司さんは「コロナ禍で自宅にこもりがちなお友達とおしゃべりをしてリフレッシュにつながったのでは」と笑顔で話しました。